

発 言 通 告 表 ( 施政方針に対する質問 )

平成 2 8 年 2 月定例会

順位	氏名(議席)	発 言 の 要 旨	答 弁 者
1	荻田 丈仁(21)	<p>1. 「はじめに」について</p> <p>(1) 「産業の活性化に向けた取組やシティプロモーションの強化など、本市の都市活力再生に向け取り組んで」きたが、「市民・事業者の皆様には、これらの取組の成果を必ずしも実感していただいている状況にはないと認識しております」と温度差がある中で「任期3年目となる新年度は、『繋』という言葉に胸を、市民・地域・事業所をはじめ、様々なまちづくりの担い手の皆様と繋がりながら市政運営に臨んでまいります」と述べられているが、従来のネットワークの構築はもちろんだが、「『生涯青春都市 富士市』の実現に向け」ては、要望先の国、県、関係機関等また議会・職員をつなぐことの強化が重要であると考えが見解は。</p> <p>2. 「施策の概要」について</p> <p>(1) 『安全で暮らしやすいまち』について</p> <p>田子の浦港周辺整備では津波防潮堤及び陸開の実施設計に進むようだが全体のスケジュール及び予算規模はどのようなもので財源の内訳は。</p> <p>さらなる豪雨災害への対応が求められているが県管理河川である小潤井川、江尾江川など事業促進としてアクションプラン等の取り組み状況はどのように把握しているのか。</p> <p>(2) 『健やかに安心して暮らせるまち』について</p> <p>児童館について、「(仮称)北西部児童館」の整備の経緯と着手とは。</p> <p>(3) 『産業が交流するにぎわいのまち』について</p> <p>都市イメージのブランド化を図る上での新たなシティプロモーションについて、運送事業者と協働して行う大型トラックのボディのプリント等の進め方</p> <p>商工会議所と連携した都市イメージのブランド化が必要と考えるがいかがか。</p> <p>全国工場夜景サミット開催に当たってハード的な整備の取り組みとその後の活用についての考え、及び、工場夜景だけでない夜景観光の考えはないのか。</p> <p>セルロースナノファイバーには大きな期待を寄せるが、求められている補助制度の拡充と経済産業省への職員派遣の詳細について</p> <p>新たな工業用地の整備に向けて工業用地開発可能性基本調査が実施されるが、どのようなイメージであるか。</p> <p>今までの中心市街地の活性化に対する取り組みが進みにくい状況であった中で新たに中心市街地活性化基本計画策定に向けた調査研究に着手する意味合いは。</p>	市長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
1	荻田 丈仁（21）	<p>(4) 『人と自然が共生し環境負荷の少ないまち』について  岳南鉄道線軌道敷を活用した地域電力事業の調査は行われてきているが、実現性についての見解は。  上水道の料金改定がされるが、長期的な安定経営に向け、現状の給水人口を確保しふやすことが求められるので、簡易水道組合の早期統合が必要と考えるがいかがか。</p> <p>(5) 『魅力ある教育を実現するまち』について  東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致の取り組みにおいては富士ハイツ跡地への宿泊施設の設置は早めるべきと考えるがいかがか。</p> <p>(6) 『人にやさしい便利で快適なまち』について  立地適正化計画の策定準備と市街化調整区域における適正な土地利用方策の検討について、具体的な内容は。  公共交通の整備が求められるが、新富士駅北口駅前広場の再整備及びバスロケーションシステムの内容と、策定中の岳南都市圏総合都市交通計画との整合性についての見解は。</p> <p>(7) 『市民と創る新たなまち』について  ばらサミットを開催するが、ばらの街としてイメージ強化や市民への普及についてどのように進めていくのか。  「首都圏などへの進路・通学意向調査を実施する」ことは重要であるが、既に通学、通勤において新富士駅を利用している方の利便性向上も求められているがどうか。</p>	市長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
2	稲葉 寿利（２９）	<p>1. 「はじめに」について</p> <p>(1) 市長は本市の都市活力再生に取り組んできたと自負しているが、反面、「市民・事業者の皆様には、これらの取組の成果を必ずしも実感していただけていないと認識しております」と言っているが、その原因はどこにあると考えるか。</p> <p>また、「『富士山と言えば富士市』と言われるようなイメージ作りを進め、徐々にではありますが、本市の知名度が高まってきていると肌で感じおります」と言っているが、具体的にどのような部分を指しているのか。</p> <p>(2) 「生涯青春都市の育ち始めた新芽にしっかりと水をやり、肥料を施し、天に向かって伸びた木々が、やがて、多くの実を付け、豊かな森林となるよう果敢に挑戦を続けてまいります」と言っているが、具体的に水や肥料とは何を指しているのか。</p> <p>2. 「新年度の市政運営に向けて」について</p> <p>(1) 「『産業都市 富士市』の復活に向けた取組が欠かせ」ないのはもとより、「企業誘致や既存企業の留置を図るとともに、活力ある産業の創出・育成や経営基盤強化を支援するなど、本市経済の持続的な発展に向け取り組んでまいります」と言っている。</p> <p>また、「世界遺産富士山のもとに多くの人が集い、交流する『にぎわいのまち』を創出するため、まちの魅力の発掘や磨き上げに努めるとともに、本市の魅力を市内外に発信するシティプロモーションの更なる強化を図ってまいります」と言っているが、具体的にどのような施策を推進していくのか。</p> <p>3. 「施策の大要」について</p> <p>(1) 『健やかに安心して暮らせるまち』をつくるための施策について</p> <p>「こども医療費助成制度につきましては、子育て世代の経済的負担の軽減を図るため、現行では1日の入院につき500円としている自己負担金を、食事療養費分も含め無料化」ということは前向きな施策として評価するが、「生涯青春都市 富士市」の実現に向け、子ども・子育て支援サービスの充実や地域での環境づくりを図る子育て支援事業など、より充実した支援サービスが必要と考えるが、市長の考えはいかがか。</p> <p>(2) 『産業が交流するにぎわいのまち』をつくるための施策について</p> <p>工業振興につき、セルロースナノファイバーの実用化について</p> <p>(3) 『人と自然が共生し環境負荷の少ないまち』をつくるための施策について</p> <p>生活環境の美化について、「市民の皆様が本市に永く住み続けたいと実感し、また国内外から来訪される皆様に</p>	市長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
2	稲葉 寿利（29）	<p>は何度でも訪れたいと感じていただける美しいまちづくりを推進してまいります」と言っているが、具体的にはどのような施策を推進していくのか。</p> <p>(4) 『魅力ある教育を実現するまち』をつくるための施策について</p> <p>青少年の健全育成については、「豊かな人間性や社会を育むため、青少年体験交流事業『キズナ無限の島』を実施するとともに、社会生活に不安を抱える若者を支援するため、教育プラザ内に開設した若者相談窓口『ココカラ』の体制を充実してまいります」と言っている。先日、高校生が乳児の死体を遺棄する悲惨な事件が発生している。どこにも相談できない若者を救済するためにも若者相談窓口の充実が必要である。「ココカラ」について、具体的にはどのような体制充実を考えているのか。</p> <p>(5) 『人にやさしい便利で快適なまち』をつくるための施策について</p> <p>「本市の公共交通ネットワークの利便性向上に向け、主要バス路線の拡充や、バスロケーションシステムの導入など利用環境の整備に向け検討を進めてまいります」と言っている。具体的なバス路線拡充の方向性とバスロケーションシステムの内容について伺いたい。</p> <p>住宅政策については、「現行のスミドキU-40を拡充し、首都圏から転入する若者夫婦を対象に住宅取得助成額の上乗せを行うとともに、新たに市内在住の若者夫婦についても、まちなかなどに住宅を取得する際の助成制度を創設いたします」と言っているが、具体的にはどのような制度創設を考えているのか。</p> <p>空き家対策については、「所有者を特定し利活用などについての意向調査を行うとともに、データベースを作成してまいります」と言っている。現在の調査進捗状況と今後のスケジュールについて伺いたい。</p> <p>(6) 『市民と創る新たなまち』を築くための施策について</p> <p>多文化共生については、『富士市多文化共生推進プラン』に基づき、心通い合う多文化共生のまちの実現に向けて取り組むとともに、オーシャンサイド市との姉妹都市提携25周年を記念する事業を実施してまいります」と言っているが、具体的にはどのような取り組みを考えているのか。</p>	市長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
3	小池 智明（18）	<p>1．新年度の市政運営に向けて  都市活力再生ビジョンの理念を盛り込んだ『第五次富士市総合計画後期基本計画』の都市活力再生戦略に位置付けた3つのプロジェクトに重点的に取り組んでまいります」としているが、</p> <p>(1) 4つの戦略と51の取り組みから成り、平成25年度から27年度まで取り組んでいる「都市活力再生ビジョン」をどう総括（評価と反省）し、それを今回の「都市活力再生戦略」にどう反映させているのか。</p> <p>(2) 向こう5年間の最重要な取り組みと位置付けた「都市活力再生戦略」は、市長をトップに取り組むのはもちろんだが、行政として誰がプロジェクトの責任者となり、どのような体制で進行管理していくのか。</p> <p>2．施策の概要 第1『安全で暮らしやすいまち』</p> <p>(1) 田子の浦港周辺の津波対策については、「津波防潮堤及び陸開の実施設計を行ってまいります」としているが、翌年度以降の具体的な整備に当たり、国、県の交付金等を含めた財源確保の見込みはどうか。</p> <p>(2) 「地域防災力の向上と情報伝達体制の強化を図るため、地区防災計画や避難所運営マニュアルの作成を促進する」としているが、現在は、自主防災組織と、以前から地域に根づいた活動を行っている消防団とが連携した防災の取り組みがほとんど見られない。この連携促進が必要と考えるが、行政としてどのように取り組んでいく考えか。</p> <p>3．施策の概要 第6『人にやさしい便利で快適なまち』</p> <p>(1) 「集約・連携型のまちづくりに向け、都市機能や居住機能の誘導等を推進する、立地適正化計画の策定準備を進めるとともに、市街化調整区域における適正な土地利用方策の検討を行ってまいります」としているが、  立地適正化計画の策定準備とは、どのような作業を行うのか、計画準備・策定のスケジュールとともに作業項目、内容を示されたい。  「集約・連携型のまちづくり」という大きな目標と、それに向けた取り組みの1つに位置づけられる「市街化調整区域における適正な土地利用」に関し、基本的な考え方をどう整理・整合させていくのか、また土地利用方策はどのような検討を行うのか。</p> <p>(2) 「新富士駅では、利用者の利便性の向上を図るため、北口駅前広場の再整備に向けた実施設計を行ってまいります」としているが、  工事を前提とした実施設計は、その前段階として新富士駅を拠点とした富士駅、吉原商店街等を連絡するバス・タクシー等の公共交通ネットワーク計画を見据えてのものか。  新富士駅北口駅前広場の再整備後には、本市の主要バ</p>	市長

順位	氏名(議席)	発言の要旨	答弁者
3	小池 智明(18)	ス路線の拡大や、バスロケーションシステムの導入などが行われるのか。	市長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
4	一条 義浩（16）	<p>1. 「はじめに」について</p> <p>「人口減少のもう一つの要因である転出を抑制するためには、産業が活性化し、安定した雇用が生まれ、所得が向上していくといった経済の好循環を生み出す『産業都市 富士市』の復活に向けた取組が欠かせません」とあるように、地域の産業を発展させることが、地域経済の活性化や地域全体の活力アップをもたらし、市民のよりよい暮らしへとつながっていくものであり、また、少子高齢化などさまざまな社会的問題により、社会保障費等の必要経費がさらに増していくことが予測されている中、今の暮らしを将来にわたって維持・継続させていくためにも、市政運営を支え得る安定した財政基盤を確立することが不可欠であります。</p> <p>こうした産業と地域との関連性から、産業振興が生み出す経済効果は市を発展させていく上で極めて重要であると認識し、産業施策に集約して質問をさせていただきます。</p> <p>「都市活力再生に向け取り組んで」いるものの、「市民・事業者の皆様には、これらの取組の成果を必ずしも実感していただいている状況にないと認識」とあり、一方では「本市を取り巻く状況は明るい兆しが見え始めております」、また「徐々にではありますが、本市の知名度が高まってきていると肌で感じております」と述べておられます。</p> <p>それらは何が理由か、具体的な検証やデータはあるのか御説明願いたく存じます。</p> <p>2. 「新年度の市政運営に向けて」及び「施策の大要」について</p> <p>「新年度の市政運営に向けて」の第3の「産業の活性化に繋がる『活力みなぎるしごとづくりプロジェクト』」、及び、「施策の大要」の7つの柱のうち、第3の『産業が交流するにぎわいのまち』をあわせて捉え、以下、9点質問いたします。</p> <p>(1) 「産業観光の新たな資源と期待される『工場夜景』につきますは」、「継続的な賑わい創出に繋げてまいります」とありますが、「継続性」を導き出すため、どのような手法をとっていくのかお知らせください。</p> <p>(2) 工業に続く、生業としての観光産業としていくための具体的方策をどのようにお考えでしょうか。</p> <p>(3) 「セルロースナノファイバーの実用化に向けた取組」として、「経済産業省の本省に職員を派遣いたします」とありますが、どのような目的をお考えでしょうか。</p> <p>(4) 『(仮称)富士市の元気「ものづくり力」フェア』を開催するとあります。現在、多種多様なイベントが開催されていますが、シティプロモーションの観点から、ターゲットを絞り、整理統合し、よりインパクトのあるものにしていくお考えはないでしょうか。</p> <p>(5) 「企業誘致」に当たっては、まずは情報収集活動が非常に重要な要素であると認識していますが、どのようにお考えでしょうか。</p>	市長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
4	一条 義浩（16）	<p>(6) 企業立地促進奨励金制度では、製造事業、物流関連事業を初め、業種が限定されていますが（改正分も含め）それはすなわち市として誘致対象となる企業に限定しているのでしょうか。</p> <p>(7) 「新たな工業用地の整備に向け、工業用地開発可能性基本調査を実施」とありますが、世界文化遺産富士山を目の前に、景観保全との整合性はどのように図っていくのでしょうか。</p> <p>(8) 一方で、富士山フロント工業団地も完売、現状、工業用地として集約されたものがない中、「土地を求める側（企業）」のニーズにどのように応えていくのでしょうか。</p> <p>(9) 田子の浦港開港50周年に合わせ、「帆船『日本丸』を誘致する」とありますが、観光振興の視点と捉えるべきか、水産振興の視点と捉えるべきでしょうか。</p>	市長



順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
5	望月 昇（24）	<p>1. 「施策の概要」について</p> <p>(1) 『安全で暮らしやすいまち』をつくるための施策  「高齢者を狙った振り込め詐欺などの特殊詐欺により、市民が被害者となる事件が多発しており、その防止策として、悪質電話防止システムモデル事業を新たに実施いたします」について  「大規模災害時に家屋や道路などの被害状況を一元的に管理し、迅速な対応を図るための災害情報リアルタイム共有システムを新たに導入いたします」について</p> <p>(2) 『健やかに安心して暮らせるまち』をつくるための施策  「接種間隔や回数が増加している子どもの予防接種の時期や種類などを、保護者の方にお知らせする予防接種モバイルサイトを導入いたします」について  「保育士、幼稚園教諭の人材確保に向けて、資格や免許を持ちながら就労していない潜在保育士・幼稚園教諭の就職を支援するため、研修及び個別就職相談などを実施いたします」について  「母子家庭等医療費助成制度につきましても、同様に入院時の食事療養費分を無料化することにより、ひとり親家庭の経済的支援の充実を図ります」について  「地域包括ケアシステムの構築に向け、新たに富士川地域包括支援センターを設置するとともに、全ての地域包括支援センターにおいて職員を増員いたします」について  「本年4月に『障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律』が施行されることから、共生社会の充実に努めるとともに、様々な困難を抱える方の多様な就労機会の確保に向けた検討を行ってまいります」について</p> <p>(3) 『魅力ある教育を実現するまち』をつくるための施策  「5か年計画で小中学校のトイレの洋式化に取り組んでまいります」について</p> <p>(4) 『市民と創る新たなまち』を築くための施策  「少年自然の家、丸火青少年の家及び丸火自然公園の施設運営につきましては、サービス向上を図るため、指定管理者制度へ移行してまいります」について危機管理と安全確保の考えについて</p>	市長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
6	笠井 浩（19）	<p>1. 「はじめに」から</p> <p>(1) 地域経済においては「製造品出荷額は改善傾向にあり」とあるが、その根拠について伺う。</p> <p>(2) 「本市の知名度が高まってきていると肌で感じております」とあるが、具体的事象について伺う。</p> <p>(3) 「『繫』という言葉に胸に」、「様々なまちづくりの担い手の皆様と繋がりながら市政運営に臨んでまいります」とあるが、具体策について伺う。</p> <p>2. 「施策の大要」から</p> <p>(1) 『安全で暮らしやすいまち』 田子の浦港周辺の津波対策として「津波防潮堤及び陸間の実施設計を行ってまいります」とあるが、想定する津波のレベルと総費用について伺う。 消防・救急・救助体制について、「より迅速な出動指令を行い」とあるが、特に救急の、到着時間と受け入れ医療機関に到着するまでの時間について伺う。</p> <p>(2) 『産業が交流するにぎわいのまち』 『(仮称)富士市の元気「ものづくり力」フェア』を開催するとあるが、その内容について伺う。 「企業誘致・留置に取り組む」とあるが、今までの取り組みの成果と実際に中小企業を回ってみて既存の中小企業の課題をどう捉えているか伺う。 「工業用地開発可能性基本調査を実施いたします」とあるが、その内容を伺う。</p> <p>(3) 『人にやさしい便利で快適なまち』 国の補助決定の不調が続く中、新々富士川橋の工事は平成30年代半ばの完成を目指すと言われており、「新々富士川橋に関連する五味島岩本線や中島林町線などの早期完成を目指して取り組んでまいります」とあるが、整備は間に合うか伺う。 「現行のスミドキU - 40を拡充し」、「新たに市内在住の若者夫婦についても、まちなかなどに住宅を取得する際の助成制度を創設いたします」とあるが、詳細を伺う。 「空家等対策計画の策定に向け、所有者を特定し利活用などについての意向調査を行うとともに、データベースを作成してまいります」とあるが、詳細を伺う。</p> <p>3. 「むすび」から</p> <p>(1) 半世紀後の富士市の人口は、15万5000人にまで減少すると予想されるが、活力ある都市であり続けるためには最低20万人の人口が必要だと考える。とあるが、20万人を確保していくための手法について伺う。</p>	市長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
7	小沢 映子（20）	<p>1. 新年度の市政運営に向けて</p> <p>「誰もが生涯青春を謳歌できるまち富士市 躍進の年」と位置づけたプロジェクトの取り組みについて以下質問する。</p> <p>(1) 「安全で快適なまちづくりプロジェクト」について、河川改修における国・県への働きかけや連携をどのように考えているのか。</p> <p>(2) 「次代を担うひとづくりプロジェクト」について、「安心して子どもを生み育てることができる環境づくりのため、子育て世代に対する支援を包括的に展開してまいります」とあるが、今までの支援をどのように充実、発展させていくのか。</p> <p>2. 施策の概要</p> <p>(1) 『健やかで安心して暮らせるまち』について</p> <p>「特定健診の更なる受診機会の拡大のため、日曜健診を試行的に実施する」とあるが、具体的な説明を求める。</p> <p>地域医療構想での役割と経営基盤の強化に向け、「新公立病院改革プラン」が策定されるが、経営の効率化、経営形態の見直し等どのようにプランに盛り込んでいくのか。</p> <p>「被虐待児や発達障害児に対する支援の拡充に向け、移転改築が予定されている県立吉原林間学園の用地を確保してまいります」とのことだが、どのような支援内容になるのか。</p> <p>2025年に向けて従来から充実が求められてきた地域包括ケアシステムの構築であるが、地域包括支援センターにますます求められる機能とそれに対応する人材配置などの考えを伺う。</p> <p>「貧困の連鎖を防止するため、生活に困窮している世帯の子どもに対する学習支援を拡充してまいります」とあるが、支援の現状（学習会場の数、人的体制など）と、拡充の目標はどのように考えているのか。</p> <p>(2) 『人と自然が共生し環境負荷の少ないまち』について</p> <p>「富士市誰もが快適に過ごすことができる美しいまちづくりの推進に関する条例」において、実効性についてはどのように考えているのか。</p> <p>(3) 『魅力ある教育を実現するまち』について</p> <p>昨年4月より総合教育会議が設置され、「教育政策の方向性を共有することにより、教育委員会との連携を強化し、更なる教育の充実と環境づくりに向けて施策を展開してまいります」とある。市長も構成メンバーに入ることになっているが、設置前と比べてどのような影響を及ぼしているのか。</p> <p>(4) 『市民と創る新たなまち』について</p> <p>男女共同参画について、「職場における男性中心型社会の変革と女性の活躍推進を図る」とあるが、富士市役所</p>	市長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
7	小沢 映子（２０）	の部課長、統括主幹、主幹における男女の割合、また、推進の支援体制はどのようになっているのか。	市 長